

只見町に若者の力！

地域おこし協力隊と只見の未来をつくる



▲6月13日、辞令交付式が行われ、4名の協力隊が初めて揃いました

4～6月、役場町長室において新たに「地域おこし協力隊」として迎えることになった3名の辞令交付式が行われました。皆さんは「地域おこし協力隊」をご存じでしょうか。今、地方創生が叫ばれるなか、都市部に住む人の中には「地方で生活したい」「自然と共存したい」など様々な理由で「地方」に注目している人たちがいます。そのような思いを持った都市部の方が、地方に移り住み活動できる制度を「地域おこし協力隊」と呼びます。町では今年度、新たに3名の協力隊が加わり、現在4名が活動しています。今回は、只見町で活動している4名の「地域おこし協力隊」の皆さんをご紹介します。

◆地域おこし協力隊とは

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行うてもらい、地域の活性化を図る制度です。任期や内容は地域の実状に合わせてさまざまです。平成21年度から総務省の政策として始まり、平成27年度には全国で2,625人が活躍しています。注目していただきたい数字として、総務省で実施した地域おこし協力隊定住状況等調査によると、任期終了後における隊員の約6割は引き続き同じ地域に定住

しており、同一市町村内に定住した隊員のうち約2割の方が起業しているというデータが示されています。地域おこし協力隊制度は、地域の活性化やまちおこしだけでなく、地域の方々や風土にふれあうことにより愛着と信頼関係が生まれ、そして定住に繋がっていると思います。

隊員の任期は、1年契約で最大3年まで更新することができ、その後は新たに起業したり、現在勤務している会社の従業員として働いたりさまざまですが、町では隊員の任期中に、将来どの道に進みたいのか隊員と計画をたてながら安心して定住できるようにサポートしていきます。

只見町「地域おこし協力隊」

只見町で「地域おこし協力隊」制度を活用したのは平成26年度からです。当初隊員は1名でしたが、平成28年6月には4名になりました。4名の各隊員を紹介します。

隊員紹介

おおたけ こうへい
大竹 康平さん (21歳)

活動先／「空家活用促進隊」として明和振興センターで活動
空き家バンク事業を担当

前住所／栃木県宇都宮市(出身／群馬県吉井町)
前職／現在、宇都宮大学国際学部国際社会学科3年生(休学して協力隊へ)

◆協力隊応募理由

大学のサークル活動で布沢区を訪問しており只見に興味があった。町観光まちづくり協会のツイッターで「協力隊募集」を見て応募。観光にも興味があったが、只見に住んでみたいという思いから「空家活用促進隊」で活動。

◆目標

空き家バンク設立と、個人的に明和地区で1000人と知り合うこと!



新協力隊
(4月から)

すえや こうだい
末谷 広大さん (29歳)

活動先／「教育振興協力隊」として町教育委員会で活動
只見高校への山村教育留学事業を担当
前住所／静岡県熱海市(出身／宮城県白石市)
前職／(株)鈴乃屋で呉服関係の小売商社を約5年経験

◆協力隊応募理由

もともと教育関係に興味があり、いわき明星大学で教職課程を履修し教員免許を取得。町山村留学制度に関心があり協力隊へ応募。

◆目標

「町山村教育留学制度・只見高校の魅力化」の為に、①学習センターの寮生会を立上げ、生徒主導の自治を行う。②留学生農園(T.S.farm)の立案と地域貢献活動。③語学レベル向上にALT英会話講座の立案。④只見高校留学生の募集活動。



協力隊
3年目

はしもと たくま
橋本 拓馬さん (23歳)

活動先／「観光振興協力隊」として会津ただみ振興公社で活動
アウトドアインストラクター担当

前住所／神奈川県横浜市(出身／福島県本宮市)
前職／(株)キタセキでガソリンスタンド店員を経験

◆協力隊応募理由

趣味がアウトドアで、大好きな只見町には100回以上来ていた。只見町で「衣・食・住」をしたいと思い始めたのは20歳の時。そんな中、只見町で「観光振興協力隊／アウトドアインストラクター」を募集しているのを知り応募。

◆目標

誰にも負けない「挨拶・礼儀・笑顔」で、アウトドア活動を行っていききたい。



新協力隊
(6月から)

やましな まい
山科 麻伊さん (27歳)

活動先／「観光振興協力隊」として只見町観光まちづくり協会で活動
観光インストラクター担当

前住所／山形県新庄市(出身／山形県新庄市)
前職／東京で観光バスガイドや山形で学習支援員(英語・数学)を経験

◆協力隊応募理由

クリエイティブに活躍する全国の地域おこし協力隊を見て、自分もやってみたくと思った。東北が大好きで、よく知っている南東北で探していたところ只見町の募集を発見。只見町の地域活性化への思いに感動し応募。

◆目標

“只見から「地方繁栄」を発信する!”を目標に皆さんと一緒に創りたい。



新協力隊
(5月から)

ようこそ！只見町地域おこし協力隊！

目黒町長

目黒町長と語る地域おこし対談

協力隊



▲「教育振興協力隊」末谷 広大さん
活動先/町教育委員会

▲目黒 吉久 町長

6月17日、季の郷湯ら里において、目黒町長と地域おこし協力隊による対談が行われました。只見町のことについて、外からの視点で意見交換がされました。

---意見交換---

◆町の印象について

町長..只見町の印象はどうですか？

末谷..良い意味で「何も無い」
只見町は、町外から来た只見高校に通う山村教育留学生の学習環境として理にかなっていると思います。「何も無い」からこそ生徒達でやりたいことを創り出せる。しかし、高校生（山村教育留学生）と町民との関わり合いが非常に少ないと感じています。
大竹..サークル活動時代から思っていました。人が「人がすごく良い」と改め

て思いました。よそ者の自分を受け入れてくれ、おかずを貰うことが多くなり、本当にありがたいです。山菜が好きで、ごみみのじゅうねん和えがおいしかった。元々布沢集落の方々は知っていました。小林の若い人、子どもが多さを知り驚きました。集落の方々は自分が住んでいる集落に誇りを持っている人が多いと感じました。

山科..只見町は、人が優しく面倒見が良いと感じました。誰にでも挨拶を必ず返してくれるし、東京や地元の新庄市ではありえないことです。星が美しく、只見川の朝もや、ブナの新緑には心から感動しました。野菜が美味しと思います。私はトマトが嫌いでしたが、先日

トマトを沢山もらったので食べてみたら、「トマトってこんなに美味しかったつけ」と思えるほど只見のトマトは美味しかったです。好きになりました。

橋本..先日田子倉レイクビューにドライブに行ったとき、人生初のフクロウを生で観て感動しました。地元の人にはありふれた風景かもしれませんが、外から来た人には感動的な風景です。この自然首都・只見のありふれた素晴らしい景色を外へ発信していきたいです。

◆町長×末谷

町長..山村教育留学生制度を担当して難しかったこと、やってみたいことは？

末谷..土日は外に出てこない生徒が多く、寮がご飯



▲「観光振興協力隊」 橋本 拓馬さん
活動先／会津ただみ振興公社



▲「観光振興協力隊」 山科 麻伊さん
活動先／只見町観光まちづくり協会



▲「空家活用促進隊」 大竹 康平さん
活動先／明和振興センター

◆町長×大竹

町長：只見に来て約3カ月、

空き家バンクを担当して難しかったこと、やってみたいことは？

大竹：集落によって温度差があることが分かった。空き家バンクは集落の

を食べて寝る場所になつていました。せつかく只見に来たのだから、只見の良さを感じて卒業して欲しいと思いい、留学生と何をやってみたいか相談しました。その中で出た意見が、只見駅裏の耕作放棄地になつている畑で「留学生農園」をやってみたいということでした（詳しくはP7）。今では生徒が自発的にゴミ拾いしたいなどの意見を出し合い地域の役に立つよう活動しています。また、今後金山町の川口高校の寮生との交流や、山村教育留学生の卒業生による只見会のようなものを創り、生徒が充実できる環境にして行きたいと思つています。

◆町長×山科

町長：観光まちづくり協会での仕事と抱負は？

山科：仕事では、町民や観光客と触れあい毎日刺激的に過ごしています。

只見町はゆつたり流れる感じがありますが、現場は地域活性化のため、また自然首都・

只見に誇りをもつてが

方々の協力が必要なため、簡単にはつくれないことの難しさがあります。自分は協力隊の任期が1年間という短い期間なので、「たくさんまわる、たくさん話す、たくさん食べる、たくさん笑う」をモットーに、集落の状況を把握し、人の繋がりを大事にしていきたいです。

町長：大学を休学してまで只見に来たのはなぜ？

大竹：理由は只見に住みたいという思いがあったから。大学の友達も休学しているので、自分の中で休学に対する抵抗はなかったです。

◆町長×橋本

町長：何故只見町の協力隊になりたいと思つたか？

橋本：自分はアウトドアが好きで、その一番の影響が「北の国から」です。自然首都・只見は、24時間のコンビニもないですし、この不便さが逆に好きになり、只見で「北の国から」をやってみたいと思うようになったのがきっかけです。若いうちに協力隊にチャレンジしたいと思ひ応募しました。

んばつているのが分かります。自分も協力隊という立場から外からの目を忘れずに、只見町の良いところを沢山発見して、情報発信していきたいです。

対談は約90分間、町長と協力隊の熱い意見交換は続きました。協力隊のメンバーは、私達にはない視点と感性で活動に取り組んでいます。

只見大好き協力隊4名を今後とも宜しく願ひします。